

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)医真会八尾リハビリテーション病院	階数	地上4F
建設地	大阪府八尾市都塚2丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	230 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2019年7月24日
敷地面積	8,414 m ²	作成者	蔵原
建築面積	1,844 m ²	確認日	2019年7月24日
延床面積	6,028 m ²	確認者	伊東



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 2.8</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.4</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>交通量多い国道170号線を避けて、区画道路1号線側に向けて建物を配置した。170号線側は将来計画の種地として、計画した。</p>		<p>その他</p> <p>特になし</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>・居室の腰壁を下げ、窓を大きくし、眺望に配慮すると共に、通風・採光の確保に努め、快適な病室空間を目標とした。 ・居室のサッシは断熱性の向上を図り遮音等級T-1以上を</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・大地震時に、最小限の補修で使い続けられる構造計画。 ・災害時に安心・安全に避難できる建築計画。 ・日常更新や、災害時に施設機能を維持するインフラ計画。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>・十分な緑地を確保すると共に、外壁材を彩度の落としたアースカラーデザインとし、周辺環境との調和を図った。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>・建物周囲にバルコニーを回して、日照の抑制を図った。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・4階屋外テラスに木材をリサイクルした人工木材を使用した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>・十分な駐車台数を確保し、近隣への違法駐車等が発生しないように、配慮した。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0079

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)医真会八尾リハビリテーション病院建設工事					
		建設地	大阪府八尾市都塚2丁目					
		用途/区分	病院					
【評価結果】		CASBEE 総合評価				B+		
①	CO2削減				3			
②	みどり・ヒート アイランド対策				3			
③	建物の断熱性				5			
④	エネルギー削減				3			
⑤	自然エネルギー直接利用				—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.7	3	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								